

# RESPONSE RING

## SPORTS LINE

この度は弊社製品【RESPONSE RING/レスポンスリング】をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。スロットルボディに装着し、吸気流速の向上によりエンジンレスポンスを高める目的の為に制作された製品です。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取付作業をおこなって下さい。本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取扱説明書の変更をおこなっております。お手元の取扱説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取扱説明書を参考に取付、調整をおこなって下さい。

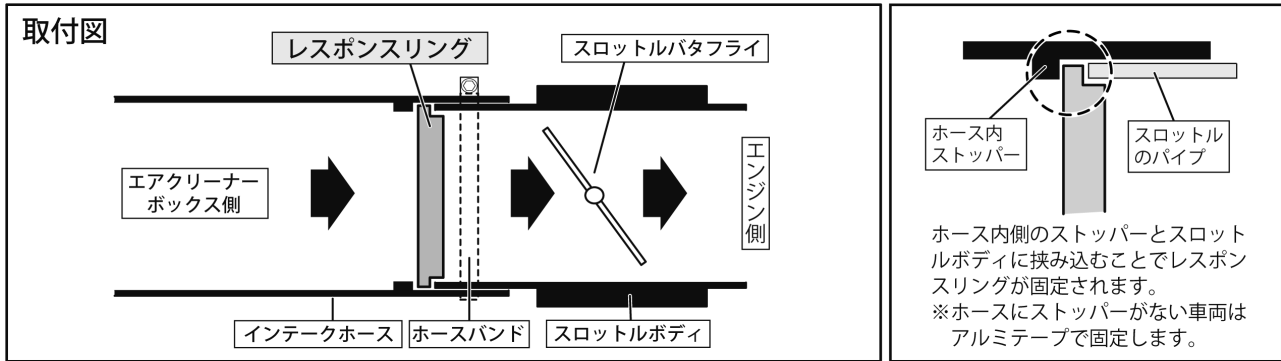
**⚠️ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**

- 取付作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取付後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

**⚠️ 注意 または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。**

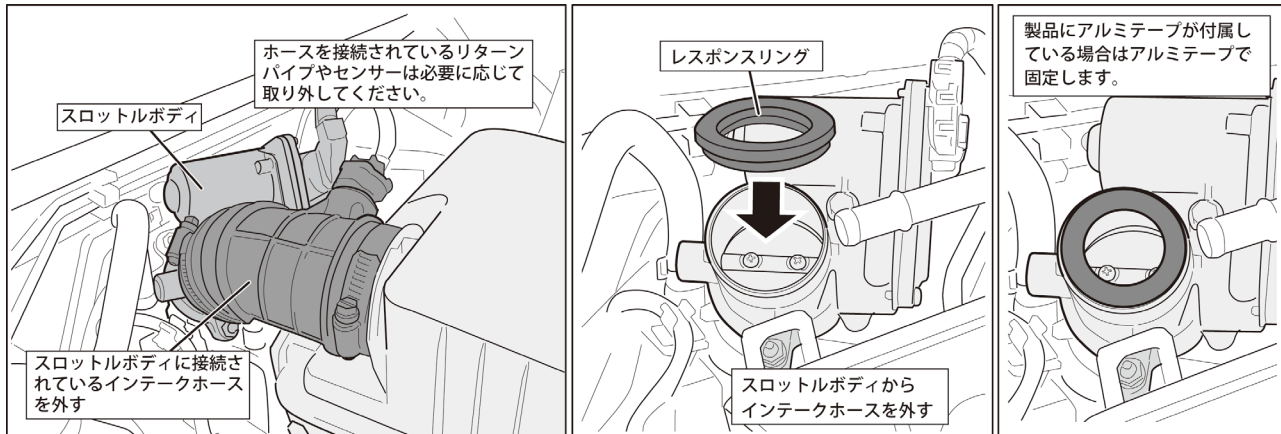
- ネジの締め忘れ、ダクトの勤合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジやゴミ等が落下した場合、エンジンの破損の可能性がります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

### ●レスポンスリングの特徴



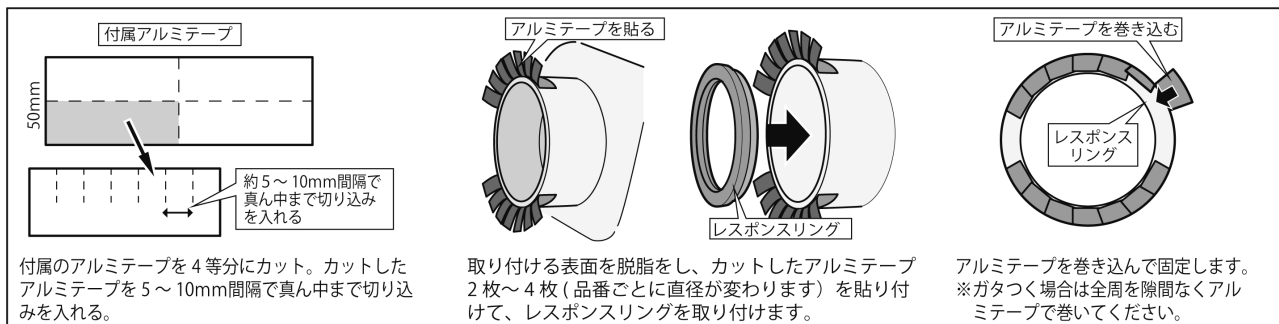
### ●取付方法

- ⚠️ 注意** ●エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いてから10分間以上たってから作業をおこなって下さい。  
 ※車両のECU電源が完全にOFFになる前に作業をおこなってしまった場合エンジンチェックが点灯してしまいます。



- 1 スロットルボディとインテークホースを接続してるホースバンドをネジを回してバンドをゆるめます。
  - 2 スロットルボディからインテークホースを取り外します。
- ※ リターンパイプやセンサー類は必要に応じて取り外してください。
- 3 スロットルボディにリングを挿し込みます。アルミテープが付属している場合は次ページを参照してにアルミテープで固定して下さい。
- ※ アルミテープが付属してない場合は使用する必要はありません。
- 4 インテークホースを戻し、ホースやネジやカブラー等も元の状態に戻します。
- ※ リングの厚み分ホースが奥まで入りませんが問題はありません。

### ●アルミテープを使用して固定する方法(品番によって付属していない場合があります)



## ●取付時の注意

bB(QNC21)



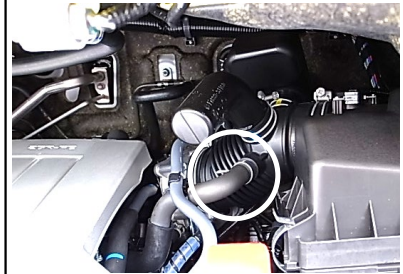
●スロットルにリングを装着するとゆるい状態ですが、その上からクリーナーBOXを被せることにより固定出来ます。

レガシー(BE5/BH5)



●画像を参考にインテークホースのエンジン側にリングを装着して下さい。付属のアルミテープにて固定して下さい。

アルファード/ヴェルファイア(30系 3.5L)



●インテークホースに接続されているホースを外してから脱着して下さい。

## ●オプションサイズ・アシストリングについて

### ●オプションサイズ

車両により絞りサイズの違うオプションリングを別途選択することができます。標準のリングと交換して装着することによりトルク特性を変更することが可能です。走行条件、好みにより最適なリングを選択し、走行をお楽しみ下さい。  
※適合表のオプションサイズをご確認ください。

### ●アシストリング

レスポンスリングと別の場所に取付、両方を併用することで性能を全域で高め、特に加速時のスムーズさが増大します。  
※レスポンスリングがエアフローボックス側に取付の場合はアシストはスロットル側に取付。レスポンスリングがスロットル側であればエアフローボックス側になります

## ●トラブルチェック



警告

●エンジン始動して異音や不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してから本製品を使用して下さい。

### 【レスポンスリングが挿入できない】

- ホースバンドを締めすぎていた場合、樹脂パイプが楕円形状に変形してしまいリングが装着出来ない場合があります。変形したダクトを修正してからリングを装着して下さい。
- 社外品のインテーク交換キット、スロットルなどが装着されている場合、パイプ系が違い取付ができない場合があります。

### 【レスポンスリングを装着しても変化が感じられない】

- ECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。
- 一般的な車両ではアクセル開度約20~40%の一定走行時に効果がおおきくなります。

### 【高回転域で性能がでない】

- レスポンスリングは低中速域のレスポンス、トルクUPを目的とされて設計してあります。常時高回転やサーキット走行する場合は一旦リングを取り外して下さい。

### 【アイドル不調、エンジンが吹けあがらない、エンジンチェックが点灯する】

- 取付時に取り外したセンサー、ホース類を元に戻しているか確認して下さい。
- 取り外した時にスロットル内やエアクリーナーボックスなどに異物等の混入がないか確認して下さい。
- 取り外したインテークホースが奥まで入っているか、エア漏れがないか確認して下さい。

### 【点灯したチェックランプを消す方法】

- 正常な状態で【エンジン始動】⇔【1分間エンジン停止】を3~5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断しエンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時はディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。



注意

### 【類似品について】

- 本製品は特許を取得しております。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。
- 違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。